



# 3年学年通信

12月号

石川県立金沢西高等学校

2025年12月1日

## 12月・1月行事予定表

日付	曜日	行事内容	ブラスバンド販売	共通テストまで
1	月	三者懇談① (50分×3)	×	47
2	火	三者懇談② (50分×3)	×	46
3	水	三者懇談③ (50分×3)	×	45
4	木	三者懇談④ (50分×3)	×	44
5	金		○	43
6	土			42
7	日			41
8	月	特別時間割第1期(～1/16)	○	40
9	火		○	39
10	水		○	38
11	木	共通テストパック演習①※	○	37
12	金	共通テストパック演習②※	○	36
13	土			35
14	日			34
15	月		○	33
16	火		○	32
17	水		○	31
18	木		○	30
19	金		○	29
20	土			28
21	日			27
22	月	40×4	×	26
23	火	終業式	×	25
24	水	共通テストパック演習①	×	24
25	木	共通テストパック演習②	×	23
26	金		×	22
27	土			21
28	日			20
29	月	学校閉庁日(～1/3)		19
30	火			18
31	水			17
1月1日	木			16
2	金			15
3	土			14
4	日			13
5	月	共通テスト直前プレテスト①	×	12
6	火	共通テスト直前プレテスト②	×	11
7	水	始業式 大掃除	○	10
8	木		○	9
9	金		○	8
10	土			7
11	日			6
12	月	成人の日		5
13	火		○	4
14	水		○	3
15	木		○	2
16	金	共通テスト激励会(3限まで)	○	1
17	土	共通テスト1日目		本番
18	日	共通テスト2日目		本番
19	月	共通テスト自己採点 特別時間割第II期(～2/9)	○	
20	火		○	
21	水		○	
22	木		○	
23	金		○	
24	土			
25	日			
26	月	国公立大学出願開始(～2/4)	○	
27	火		○	
28	水		○	
29	木		○	
30	金		○	
31	土			

## 最後までやりきる！ラストスパート！

共通テストまで残り僅かとなりました。大切なことは、試験当日をいつも通りの自分で迎えることです。焦りも緊張もなく実力を発揮できる人は、常日頃からシミュレーションできる人だと思います。「何時に寝るか?」「何時に起きるか?」「移動手段は?」「休み時間をどう過ごすか?」など、気持ちの準備が必要なことはたくさんあります。少しでも本番に近い状況を作り、慣れていきましょう。

また、不安を感じない受験生はいません。そんなときは、ノートや頑張った記録をつけた手帳を眺めることをお勧めします。自分が今まで取り組んできたことを振り返ってください。大丈夫です。それだけのことをやってきたんです。最後まで強い自信を持ち続けて一緒に頑張りましょう。

## 国公立大学2次試験について

共通テストの自己採点の結果と各業者の合格判定を参考にし、出願大学を決めます。

基本的には『前期日程』『中期日程』『後期日程』と3度の受験機会がありますが、**1月26日(月)～2月4日(水)の期間で同時に出願**する必要があります。前期日程で合格し、入学手続きを済ませてしまうと、他の日程で受験をしても合格になりません。そのため、**第1志望は前期日程で出願するのが一般的**です。

また、後期日程は、前期日程での合格者が受験しないことが多く、実質倍率は出願時よりも下がる傾向が強いです。最後まで諦めずに受験することで、国公立大学への合格の可能性は大きくなります。

## 私立大学入試

各大学で、出願期間・出願方法・入試日・入試方式などが異なるため、出願する大学のHPや募集要項を必ず確認してください。近年インターネットを利用した出願が主流となっています。締め切り日に焦らなくてもいいように早めに動きましょう。

- 《よく見られる私立大学入試の特徴》
- ① 複数回受験することで、受験料が割引される場合がある
  - ② 同一学部・学科で入試科目や配点などが異なり、複数回受験が可能な場合がある
  - ③ 個別試験の結果で合否判定をするもの、共通テストのみで合否判定する『共通テスト利用型』や、共通テストと個別試験で合否判定する『併用型』を用いるものがある
  - ④ 金沢や近県での地方受験ができる場合がある

## お願い

いつも本校の教育活動にご理解をいただきありがとうございます。3年間を通して生徒たちは大きく成長してきました。ひとえに、ご家庭での協力があってのことです。受験が目前に迫り、ご家庭でも不安や焦り、緊張が生じていると思われます。そんなときこそ、温かいサポートをよろしく願います。生徒自身が、充実した気持ちで受験を終えられるように一緒に支えていきましょう。